

神奈川県作業療法士会ニュース153号 目次

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1 巻頭言 | 8 各部からのお知らせ |
| 2 ここへ行ってきた | 9 理事会報告 |
| 4 県学会のお知らせ | 10 求人広告 (6件) 講習会案内 (2件) |
| 6 O TのためのIT講座 (第11回) | 12 青年海外協力隊通信 (第6回) |

巻頭言

読むより書くための雑誌
【神奈川作業療法研究】

学術誌編集委員 神奈川県立保健福祉大学 友利幸之介



県士会では2010年より学術誌を発刊しています。名称は「神奈川作業療法研究」とこれ以上ないくらい保守的ですが、表紙はみなとみらいをモチーフとした斬新なデザインの雑誌です。

県士会で学術誌を作る目的は多々ありますが、個人的には「会員の学術レベルの向上をはかること」がメインになると思っています。なぜ学術誌を作ることが学術レベルを向上させるかという、論文を書く機会が増えるからにはほかなりません。学術レベルを向上させるためにまず用いられる方法も、本や論文を読む、講習会に参加するなどのインプットです。しかしインプットされた知識やスキルを自分の中に取り込み、血となり肉となっているかどうか確認するにはアウトプットが必要です。自分の思考過程を文章に起こしながらまとめていくプロセスは論理的思考を鍛えることができます。そればかりか、思考過程を文字で可視化することによって他者から意見をもらうこともできます。アウトプットはブログや学会発表でも可能です。論文は何が違うかというと、査読という専門家によるジャッジがあることです（執筆依頼された論文は除きます）。査読は論文を誰が書いたか分からない状態で行われるため公平です。学会でも査読はありますが、論文とは厳格さが異なります。査読者から多少の批判もあるかもしれませんが、それに反論したり、受け入れて修正したりすることで、自分の思考過程を見直したり、思考の幅を広げたりすることができます。これがまさにブログや学会発表とは異なる論文の大きな特徴と言えます。

とは言え、実際に書くとなると、どうやって論文を書けばいいのか、この研究で論文にまとめているのだろうか、書いてみたいけど周りに指導してくれる先生がいない、など色々な障壁があります。また

これまで会員が投稿できる作業療法関連の雑誌では全国誌や国際誌しかありませんでした。チャレンジしたいけども、敷居が高くて躊躇している会員も多いと思います。そこで「神奈川県作業療法」の登場です。本誌は、国際標準逐次刊行物番号 (ISSN) の取得と、医中誌WEB版への登録を済ませており、一応学術誌として筆者が業績に記載できるような最低限の条件はクリアしています。ただ本誌は読むというより書くために創られた雑誌だと思っています。そのため、会員の皆様の論文執筆をサポートする取り組みとして、編集委員が教育的な査読を行っています。つまり、投稿者である会員が今後成長していけるように、具体的なアドバイスに近いコメントをお願いしています。また、目玉としては論文執筆支援制度を設けています。これは、これまで研究活動の経験は全くないが、本誌には是非投稿してみたいという会員に対して、テーマの決定から投稿に至るまでの一部、もしくはその一連の過程に対して、必要に応じて助言及び指導を行う制度です。

最初から良い論文を書くことは難しいと思います。良い研究を行って、良い結果が出るまで論文にまとめられないとなると、いつまで経っても力がつかないのではないのでしょうか。まず論文を書いてみるという第一歩、全国誌や国際誌にチャレンジする助走をつける第二歩あたりまでステップアップする過程を支援できれば編集委員としても嬉しく思います。なお本誌の発刊は毎年2月頃を予定しており、投稿は年中受け付けておりますので、皆様の投稿をお待ちしております。最後になりますが、本誌は編集委員の方々のボランティアによる査読によって成り立っております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。



神奈川障害者職業センター

神奈川県相模原市南区桜台13-1

(小田急「小田急相模原」駅北口1番乗り場より「北里大学病院」、「JR相模原駅」、「町田バスセンター」行で「第一住宅」下車 徒歩1分)

電話：042-745-3131

URL：http://www.jeed.or.jp

リワークプログラムを専門的に行っています

ここ数年でうつ病は大きな社会問題となっており、映画やドラマでうつ病を題材にしたものを見た方も多いのではないのでしょうか。そんな中、精神科デイケアや外来OTでも気分障害に対する利用者の割合が多くなっており、中でも職場でのストレスといった様々な理由で休職しての利用者が増えています。デイケアで復職（以下「リワーク」）に向けてのサポートをする中、リワークを専門に取り組んでいる専門機関の存在を知りました。今回、リワークプログラムを専門的に展開している神奈川障害者職業センターに行ってきました。神奈川障害者職業センターでは精神障害者総合雇用支援の中でリワークの他に新規雇用・就職に関するニーズとしての雇用促進支援や雇用継続に関するニーズとしての雇用継続支援を精神障害者と事業主を対象に行っています。

す。(表1) 今回の取材ではリワークに対する職場復帰支援に焦点を当てて紹介します。相模原市の閑静な住宅街の中にある神奈川障害者職業センターにてリワークカウンセラーの湯田さんにお話を伺いました。

利用者の9割近くの方が職場復帰されています

神奈川障害者職業センターは独立行政法人である高齢・障害・求職者雇用支援機構が運営しており、各都道府県に最低1ヶ所の地域障害者職業センターを設置しています。リワーク支援事業は平成17年から開始され、企業の産業保健スタッフ、人事、総務、主治医等からの紹介や、個人によるインターネット検索からの利用もあります。年々利用者は増えており、再発を防止してスムーズに復職し、職場定着ができるための準備を整えることを目的として平成22年度には、約70社の方がプログラムを利用しています。そのうち9割近くの方が職場への復帰を果たされているとのこと、プログラムの成果が出ている結果と感じました。

期間は3ヶ月でウォーミングアップコースが1ヶ月と本コース2ヶ月となっています。詳しい内容は表2を参照して下さい。ウォーミングアップコースは週5回の実施で体調管理、スケジュール管理を中心に行います。プログラムを2回休んだら本コースに進めない場合もあるとのこと、厳しい条件になっています。本コースではグループワークが中心で、同時期に10～20名のグループで実施しています。午前と午後の2コマで行われています。月曜日から金曜日まで様々なスケジュールが組まれています。(表3)

私が伺った時にはグループミーティングを行っていました。(写真) 参加している方の意欲が伝わり、様々な意見が出され、活発に議論されていました。最初は発言もまばらとのことですが、回数を重ねるごとに熱の入ったものになるとのことです。



デイケアに求めることは基本的な体力、生活リズムの構築

最近のリワークに求められる傾向として、①フル

表1 精神障害者総合雇用支援

	雇用前 (新規雇用・就職に関するニーズ)		雇用後 (職場復帰に関するニーズ) (雇用継続に関するニーズ)	
	精神障害のある方	事業主の方	精神障害のある方	事業主の方
	・企業で働きたい。 ・就職に必要な力を身につけたい。 - など	・精神障害のある方を雇用したいが、どのような準備が必要か。 - など	・職場復帰したいが、以前のように仕事ができるか不安。体力の低下も心配。 - など	・職場の人間関係で困っている。このまま働き続けたいが…。 - など
	雇用促進支援 ◆雇用事業主に対して ・採用計画等を含む雇用管理に関する助言・援助 ・職場適応援助者（ジョブコーチ）による支援 など ◆支援対象者に対して ・社会生活技能等の向上のための支援（精神障害者自立支援カリキュラム） ・職場適応援助者（ジョブコーチ）による支援 など		職場復帰支援 ◆雇用事業主及び支援対象者に対して ・職場復帰のコーディネート ・リワーク支援	
	雇用継続支援 ◆雇用事業主及び支援対象者に対して ・職場適応の状況等に応じた助言・援助 ・職場適応援助者（ジョブコーチ）による支援 など			

リワークプログラムにて行うこと（職業センター）

リワークプログラム前に行うこと（デイケア）
→リワークの基盤

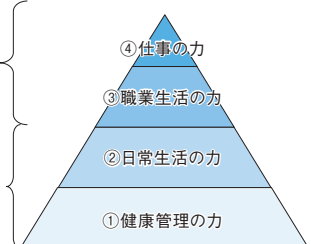


図1 働く力の構造

表2 リワークプログラム

	実施項目	内容	目的
症状や体調の理解・管理	a 週間活動記録表	1時間単位の活動内容と気分を毎日記録する	生活のリズムを構築し、気分の変動のパターンを理解する。
	b 週間活動表をふりかえって	1週間・1ヶ月単位での活動の振り返り	長いスパンでの生活リズムや気分の変動を理解する。
	c ストレッチ	座ったままできるストレッチ ラジオ体操	短時間で簡単にできるリラクゼーションを身につける。
	d 自律訓練法	筋弛緩を用いたリラクゼーション	緊張感・不安感などの緩和。
	e うつ・不安	資料・テキストやビデオを用いて、自分の症状を整理	自分の病状理解を深め、対処法の手がかりや、再発防止の上での注意点を整理する。
	f 医師との関わり方・薬	資料・テキストを用いて、医師との関わり方を改善し、処方されている薬の理解・服薬遵守の意識を高める	医療機関（主治医）との適切な効果的な相談技能や服薬コンプライアンスを高め、再発防止の意識を促す。
	g 認知療法によるストレス対処講習	「こころが晴れるノート」を読んだ上で、コラムを用いて、自分の認知を整理・修正（個別・合同）	否定的な認知を整理し、別の見方を検討できるようにする。復職後のセルフケアを行えるようにする。
身体・認知機能	h 計算・漢字トレーニング	四則計算・漢字読み書き（ドリル・PC）・大人のIQドリル	前頭葉に刺激を与えることにより、低下した認知機能のリハビリ・改善をはかる。正誤は関係なく考えるといった作業自体に効果がある。
	i 書き写し	原稿用紙に文章を書き写す	
	j OAワーク・簡易事務・PC作業	①数値入力②文章入力③数値チェック④物品請求書作成⑤Word・Excelの練習（テキスト）	記憶力・注意力・集中力の改善および、事務作業への導入をはかる。
	k テーブルタップ・ピッキング	①テーブルタップの分解・組立②クリップ作業③幕張版ワークサンプル	職業準備支援場面を活用し、体力・持続力の向上をはかる。
対人機能	l SST	復職後予想されるコミュニケーション場面を設定し、練習する	ストレス場面においても自分の意見や気持ちを相手に伝える技能を高めることで、復職後の対人関係に対処できるようにする。
	m アサーショントレーニング	アサーティブなコミュニケーションについて学習し、具体的な場面について脚本をつくる	自分の考え、欲求、気持ちなどを率直に、正直にその状況にあった適切な方法で述べる力をつける。
	n グループミーティング	病気・生活・就労に関する内容を話し合うことによって、自己理解や病状管理、ストレス対処など復職後の課題をチェックする	自助グループ的な雰囲気を通して、障害受容・自己受容をはかり、復職後の問題点を明確にしている。

表3 本コース週間スケジュール例

	午前（10時～12時）	午後（13時～15時）
月	1週間の振り返り	ストレス対処法
火	通勤トレーニング	カウンセラー面談
水	作業課題（報告会準備）	アサーショントレーニング
木	グループミーティング	
金	通勤トレーニング	合同コラム（認知療法）

タイム復職を想定した体力、生活リズムの構築 ②再発予防の為に振り返り ③ストレス対処法の習得 ④職場での対人スキルの向上 ⑤通勤力、の5点について話がありました。

この中でも、すべての基盤となる①の「フルタイム復職を想定した体力、生活リズムの構築」が特に重要であり、ここをデイケアで築いていけるとプログラムが円滑に進むとのこと。つまり、働く力の構造として健康管理の力と日常生活の力を養うことが大切ということです。（図1）実際に早めの就寝、リワークを想定した起床、身支度、デイケアに通所するならば朝から週5回、半日以上での外出リズムなどが構築できているとリワークが始まっても疲れが出にくくプログラムに集中できるとのことです。反対に今は起きることができないけれど、予定がないだけ。リワークが始まれば多分行けるだろうという考えですと、結果として遅刻、欠席が多くなり、復職後の安定が見込めず、復職判定にも不利に働くようです。後者のようにならないためにも、リワークプログラム前の準備をするステップはデイケアでの大切な役割であると感じました。さらにデイケアを利用する中で人間関係を築けたとの話もありました。コミュニケーションに対して自信を失っている対象者にとってデイケアは人と関わる上でストレスや煩わしさを感じすぎない中で、対人関係を築

ける適度な環境なのだと思います。

職場だったらどうなのか？ 想定した視点を持って欲しい

今回の取材でリワークプログラムに入る事前準備として精神科デイケアなどの医療機関が携わることが大切であることを知りました。そのような中でOTに求めることとして「利用者が復職された時に、職場の方にも受け入れられる対応をなさっているかどうか、という視点を持って支援をして頂けると、復職後のコミュニケーション等にも効果的です」と湯田さんから話がありました。具体的には職場の環境を想定して話を聞きながらメモを取ったり、報告、連絡、相談といった行動、社会に適した整容といった部分を行うことでリワーク後に活かされとのこと。私自身、OTとして利用者と雇用者側の視点に立った復職へのサポートと共に、その方の長所を見出して復職につなげていけるような評価もできればと思いました。そのためにもリワーク全般に対する知識や技術をさらに高めていく必要があると感じました。

様々なニーズの利用者があり、リワークに特化した対応をするには専門的なデイケアでなければ限界があるかもしれません。しかし、今回の取材を通して神奈川障害者職業センターと連携する場合はデイケアでのリワークに対する援助の視点が明確になったと感じました。

リワーク支援を受けるためには利用者、雇用事業主、主治医の3者の協力が必要です。支援を受ける費用は無料で現在休職中であり、雇用保険に加入していることが条件となります。詳しいことはホームページにも掲載されていますので、是非ご覧になって下さい。（文責：千葉）

第14回

神奈川県作業療法学会準備委員会からの報告

第14回神奈川県作業療法学会の準備委員会が活動を開始しています。今回は、学会長、実行委員長、事務局長から自己紹介を兼ねて報告の記事を寄せていただきました。

学会長

国際医療福祉大学小田原保健医療学部作業療法学科
菅原 洋子

第14回神奈川県作業療法学会を担当いたします国際医療福祉大学の菅原です。12月に第2回目の準備委員会を開催し、各委員会のメンバーも勢ぞろい、いよいよスタートラインに立った高揚感の中にあります。



第13回神奈川県作業療法学会が、東日本大震災により中止になったことはやむおえないことでしたが、第14回では「MOTTOつながる心と手」の想いを繋げ、新たな展開をしていきたいと考えます。学会長であった浅井先生は今年の学会の参加者数を会員数およそ1500名（2011年3月末の会員数は約1600名）から予測していたようです。ここ数年は毎年百数十名ずつの増加になっていることから推測すると2年後の第14回学会では1900名近い会員数となり、そのおよそ半数の会員が20代であろうと予測しています。このような会員構成の中で、学会が多くの会員のニーズに応えられ、会員を繋げる場にしたいと思っています。

来年度は第1回神奈川県臨床作業療法大会が開催されます。臨床の成果を形にし、とことん話し合える場をもち、作業療法を科学的に追求し表現できる力を養おうという意欲的な企画です。特に発表への苦手意識を解消して、多くの発表者を誕生させようという試みにはワクワクした気持ちになります。学会も日々の作業療法の営みの上に築かれていくものですから、大会の発表と上手に繋がっていきたいものと考えています。

第14回学会の翌年にはアジアで初めて開催さ

れるWFOT会議が日本作業療法学会と同時開催されます。テーマは「Sharing Traditions, Creating Futures」です。キーワードは「伝統」と「未来」とするならば、東日本では最もリハビリテーションが進んでいた神奈川県の伝統を未来に繋げ、世界に繋げる役割も学会にはあると考えています。

まだまだテーマも混沌の中にあり、各委員会は学会までの作業手順と予算を決定することに大童の状況です。2年後の学会に期待することがありましたらドシドシお聞かせいただければ、ドンドン取り入れて繋げていきたいと考えております。どうぞご協力よろしくお願いいたします。

実行委員長

国際医療福祉大学小田原保健医療学部 作業療法学科
鈴木 孝治

第14回の神奈川県作業療法学会実行委員長を務めます国際医療福祉大学の鈴木孝治です。昨年（平成22年）4月に7年ぶりに地元神奈川に戻ってまいりました。



私は、神奈川生まれの神奈川育ちですので、ここで一度これまでの神奈川県作業療法士会の学会について、私の知る限りでふりかえってみたいと思います。

まずは、作業療法士会の発足からですが、昭和46年6月に神奈川、静岡、山梨、長野の4県で日本作業療法士会中部支部が発足したと聞いております。そして、10年後の昭和56年11月、私がまだ東京都立府中リハビリテーション専門学校の学生だった時に日本作業療法士協会が法人化し、これまでのブロック制を廃止し神奈川県作業療法士会が発足致しました。

記念すべき第1回の神奈川県作業療法学会は、昭和62年3月に国立療養所箱根病院附属リハビリテーション学院の伊原幸枝学会長により横浜の神奈川県政総合センターで開催されました。その後、県内の主要施設による持ち回りでの隔年開催となりましたが、平成23年には13回を数えるまでになりました。しかし、みなさんご存じの通り、大震災のため、この第13回学会の開催は自粛し、中止となりました。なお、学会開催に先立ち、昭和60年3月には、神奈川県作業療法士会誌が創刊されております。これはまだ学術誌としての体裁は整えておりませんが、研修会や学会の記録を残す意味では大きな足跡となりました。第3回神奈川県作業療法学会からは抄録を掲載するようになりましたが、本格的な学術誌としての完成は、平成22年の「神奈川作業療法研究」の発刊を待たねばなりませんでした。

これまでに、神奈川県西部に位置する小田原では、平成9年に菅井京子学会長のもと、小田原市民会館にて第6回神奈川県作業療法学会を開催しております。そして第14回の学会は、西湘地区で2回目の開催となります。第1回の学会開催地は横浜でしたが、伊原学会長の所属は小田原でしたので、これも含めると小田原地区の会員で実施するのは3回目です。今回の学会も西湘地区の作業療法士を中心に協力者の輪を広め、市民にとって、また会員にとっても実りある学会を運営してゆきたいと考えております。

私自身はこれまで、数回転勤をしており、県外へは2回転出し、平成22年4月に3回目の神奈川県士会再入会となっております。最初の職場が曽我病

院、2回目が小田原市立病院、そして現在が国際医療福祉大学です。3つの職場とも小田原市内ですので、小田原に縁があり、こよなく小田原を愛しております。温暖な気候で、風光明媚、魚介類に恵まれ、世界の箱根温泉に至近と大変過ごしやすい小田原、とても素敵な街です。

平成25年春には、小田原にてみなさんにお会いできるのを楽しみにしております。

事務局長

国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 作業療法学科
森田 浩美

はじめまして。このたび、平成25年に開催される第14回神奈川県作業療法学会の実行委員会事務局長を務めさせていただくことになりました。



学会運営に携わるのも初めてというなかで、このような大役を仰せつかり、まだまだ何をどうしたらいいのか戸惑うことばかりですが、みなさまのご協力をいただきながら、歩みを始めたところです。

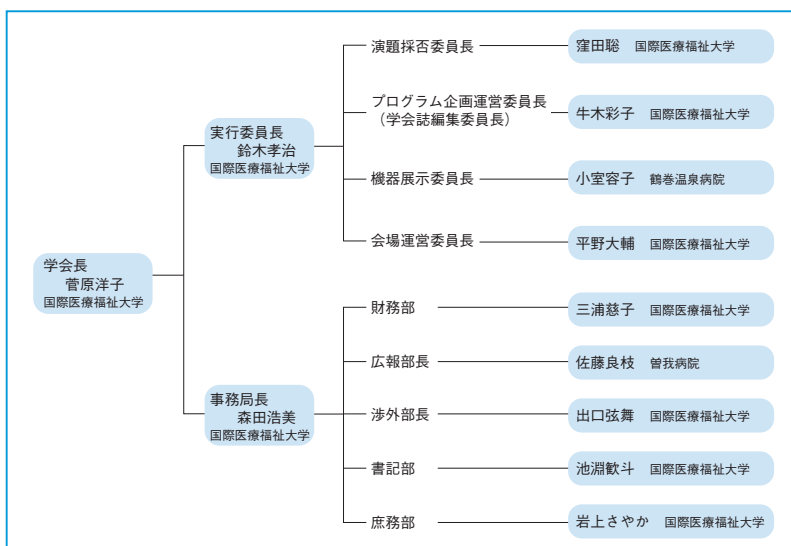
今回は、実行委員をご紹介します。先日第2回の実行委員会を終え、各部署もそれぞれ活動を始めたところです。

それら活動の一端について、神奈川県作業療法士会のサイト「小田原学会瓦版」というブログでの報告も始まりました。

昨年は3月に東日本大震災があり、日本国中に大きな影響がありました。県学会が開催できなかったこともその一つです。それまで開催に向けてご尽力なさっていた北里大学の先生方を中心とした実行委員のみなさまの思いも引き継ぎ、学会成功に向けて進んで参りたいと思います。

東日本大震災以降、今もなお大変な状況の中で生活されている多くの方々に心よりお見舞い申し上げます。

そして今年はいいニュースがたくさん生まれる一年になることを祈願して…。





OTのためのIT講座

第11回 Facebookでお困りですか？



講師
石川 敢也さん



松本 いやあ、石川先生もやっと目覚めたみたいですね！



石川 そうなんです。松本さんに「高田馬場に3年も通っていて“渡なべ”のラーメンを食べたことがないなんて！」と驚かれたので、すぐに行ってみました。講師をやっている学校から徒歩2分の近さでしたけど知りませんでした。(笑)



松本 美味しかったですよ？高田馬場はラーメンの激戦地で、他にも有名店がたくさんあるんですよ。



石川 そうですね。今では「食べログ」のサイトで“高田馬場の駅から500m以内のラーメン”で検索して、人気の高い順に行ってますよ。



松本 いいですねえ。ということは、今回のテーマは“インターネットで口コミ情報を収集する方法”みたいな感じですね！？



石川 あ、それは別の機会にということで。(笑)
今回は前回に続いてフェイスブックがテーマです。リハビリテーションの研究会などもフェイスブックで活動しているそうですね。そこで今回は、フェイスブックにとまどっている読者からの質問に回答します。

質問を募集しています！ ??????????????????

「OTのためのIT講座」で取り上げてほしい質問を募集しています。

●「OTのためのIT講座」質問箱 <http://post.afinax.com/>

今回の記事で紹介したFacebookからの投稿も歓迎です！

<https://www.facebook.com/afinax>

記事の感想や要望などもお気軽にお送り下されれば幸いです。





FacebookについてのQ&A

Q Facebook登録後、最初に何をすればいいの？

- A 写真や自己紹介など自分のプロフィールを簡単に埋めてから、友達を検索して「友達になる」をクリックしてみましょう。

Q ウォールってなんですか？

- A 近況（つぶやき）、写真や動画、リンクなど投稿して、友達に知らせるためのページです。ブログの記事を書くよりも気軽に、ツイッターなどでつぶやくよりも色々なことができます。

Q コメントを書いている途中で改行のつもりでEnterキーを押したら、投稿されてしまいました。

- A Facebookでの改行は「Shiftキー+Enterキー」です。ちなみにFacebookには「10秒ルール」という特殊な機能があり、投稿してから10秒以内に記事をクリックすれば、投稿の訂正ができます。

Q 本名とか写真を載せて、知らない人から友達のリクエストが届くのが嫌です。

- A Facebookは実名での活動が基本です。とはいえ、例えば独身女性を検索して手当たり次第にリクエストを送る人もいます。興味のない人からのリクエストは断っても構いません。「プライバシー設定」の項目にある「つながりの設定」から「友達リクエストを送信できる人」を「友達の友達」に変更することもできます（初期設定は「すべてのユーザー」になっています）。

Q 友達という親しさではないけど、断るのも気が引ける、そんな距離感の人から友達のリクエストが来て困っています。

- A 友達として承認後に「友達」ボタンから「知り合い」や「制限」と区分を選択できます。「知り合い」は自分の投稿は相手に見せるけど相手の投稿はリアルタイムで見る必要がない場合に、「制限」は友達リストには載せても全体に公開する項目以外は相手に見せないでおく場合に使います。どちらに分類しても相手に通知されることはありません。

Q 右下にチャットの画面が出てきて邪魔なんですけど。

- A 「チャット」→「オプション」→「オフラインにする」で、チャット機能を全く使わない設定にすることができます。また、友達をグループに分類しておけば、特定のグループ（1人でも構いません）に対してのみチャットをオン（またはオフ）にしておくこともできます。

Q アプリの種類が多すぎて選べません。

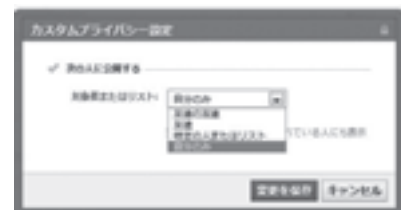
- A 現在のFacebookアプリは玉石混合ともいえる状態です。よく分からないうちは全く使わないのも一つの手かもしれません。下記のQ&Aも参照してください。

Q 友達のウォールに書いたつもりはないんだけど

- A アプリの中には「友達はこんな質問にも回答しています」などの勧誘のメッセージを過度に発信したり、友達のウォールに自動で投稿する機能を備えたアプリもあります。情報セキュリティの心配もあるので不要なアプリは削除しましょう。なにか変だなと思ったら「facebook スпамアプリ」のキーワードなどで調べてみましょう。

Q 前回の記事で「プライバシーに関することは細かく設定できる」とありましたが、具体的なやり方を教えてください。

- A 例えば携帯電話の番号の設定は以下の通りです。「プロフィールを編集」→「連絡先情報」→「電話番号」→「携帯▼」を選択→右側の「友達▼」を選択→「カスタム」→「カスタムプライバシー設定」の画面で「対象者またはリスト」を選択できます。



Q 自分を検索されないようにできますか？

- A 自分を検索できないようにしたり、友達以外はメッセージを送れないように設定することもできます。「プロフィールを編集」→左側の「プライバシー設定」のリンク→「つながりの設定」→「設定を編集」で、「名前または連絡先情報を使ってあなたを検索できる人」や「あなたにFacebookメッセージを送ることのできる人」などを設定できます。

各部からの報告

教育部

○連載！

県士会ウェブサイトから質問ができます！

「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」

「お届け！生涯教育制度、あれもこれも」は、生涯教育制度関連の情報を毎月少しづつお伝えしています。

1. 「事例報告登録制度研修会」の報告

11月23日（水・祝）、ウイリング横浜にて開催されました。40名を超える参加者でした。

多くの質問がありましたが、その中で訂正があります。事例報告登録の申請後、審査期間中に別の事例報告を申請できる旨お答えしましたが、審査期間中は別の事例報告の申請は入力できないようになっています。お詫びして訂正させていただきます。

2. 今年度研修会開催情報

*申し込み等詳細はこれまでの県士会ニュースチラシ、県士会ウェブサイトをご参照ください。

①現職者選択研修：

- ・発達障害領域 2012年2月4日(土) ウイリング横浜
- ・精神障害領域 2012年2月5日(日) ウイリング横浜

②現職者共通研修：

- テーマ：「事例検討」・「事例報告」 2012年3月4日(日) ウイリング横浜

3. その他

認定作業療法士制度の審査方法が大きく変更される方向のようです。今後の情報には十分ご注意ください。

これまで関心のなかった方で、始めよう、始めなきゃと思う方（実はそういう方が増えています）は何でもご連絡ください。どの段階からどのように始めたらよいか等お知らせいたします。

生涯教育制度に関して何でもご連絡ください。県士会ウェブサイトからもご質問ができます。

教育部 奥原孝幸（昭和大学）
045-985-6500（代）、kyouku@kana-ot.jp

ウェブサイト管理委員会

○Facebookはじめました！

ハマ子：FacebookやってるOTって増えてるらしいよ。

よこ太：あー知ってるよ。売ってるんだよね。大ベストセラー。

ハマ子：えーと、次は何か？

よこ太：えっ？また変なこと言ったかな？

ハマ子：ほお自覚はあるのか。Facebookだってば。

よこ太：だから「顔面図書」。つまり顔だけの写真集。

ハマ子：(ー) ...うん、やっぱりね。展開読めたよ。

よこ太：うん、尊敬する人物は「水戸黄門」だもん。

ハマ子：ウェブ管もFacebookを始めたこと、教えてあげようと思ったんだけど、無駄みたいね。

よこ太：ウェブ管の「顔面図書」？

ハマ子：Facebookって「顔写真付きの名簿」の意味だよ。ある意味合ってるのか？

よこ太：県士会サイトの講習会や求人情報などの記事、県士会ブログの記事、ウェブ管公式Twitterの記事が更新されると、ウェブ管公式Facebookでわかるようになっていきます。Facebookユーザーは、ぜひ「いいね！」をお願いします。< (ー) >

ハマ子：なんで、おいしいところを持ってっちゃうのよ！

公式Facebook：http://www.facebook.com/kaotwebkan

（文責：ウェブサイト管理委員会 作田・大澤）

平成23年11月アクセスランキング
1位 講習会・研修会 12998件
2位 作業療法Tips & PDF 12729件
3位 求人情報掲載板 10466件
4位 必見！OTのすご技・アイデア集 6243件
5位 再学習☆応援講座 2258件

平成23年11月県士会ブログランキング
1位 小田原学会瓦版 553件
2位 ウェブ管の知恵袋 491件
3位 KAOT社会保障制度委員会 345件

更新件数：63件 訪問者延べ数：13873人
Kanaからの手紙発行回数：24回
Twitter (ID:kaotwebkan)：フォロアー143名

地域リハビリテーション部

○《11月～1月の活動報告》

- ①認知症の方に対する作業療法アンケート調査集計作業
- ②「特別支援学校を中心としたタウンミーティング」の開催
12月3日
- ③「訪問リハビリリーダーミーティング」の準備作業
2月5日(日)
- ④パイロット事業のミーティング 冊子作成への取り組み

・「認知症の方に対する作業療法アンケート」ご協力ありがとうございました。集計作業が終了次第ご報告いたします。

神奈川県臨床作業療法大会 実行委員会

○事前参加登録のご案内 ～事前の登録がオススメです!!～

いよいよ、今年の4月15日(日)に、第1回神奈川県臨床作業療法大会が開催されます。

大会当日の混雑を避ける目的で、皆様に事前参加登録をお願いします。

事前登録では、当日参加より、参加費が500円安いことも魅力です。

奮って参加登録いただきますよう、よろしくお願いいたします!!

【参加費】

- ・会員 事前登録2000円 当日2500円
- ・非会員／他職種 3000円
- ・学生無料

※会員は、平成23年度神奈川県作業療法士会会費納入済みであること。参加申し込みの前に会費納入の有無を必ずご確認ください。

【受付期間】2012年2月1日(水)～2月29日(水)

【受付方法】Eメールにて、

件名：「第1回神奈川県臨床作業療法大会参加希望」

本文：①氏名②所属③連絡先（電話番号、メールアドレス）④送金金額を記入の上、rinkengym@gmail.com に送信して下さい。

※複数人で申し込みをされる場合は、各々の所属、連絡先、人数分の送金金額をご記入下さい。

・メール送信後1週間以内に下記口座に参加費の振込をお願い致します。

ゆうちょ銀行 【店番】028（読み ゼロニハチ）

【預金種目】普通口座

【口座番号】5091710

【口座名】神奈川県臨床作業療法研究大会

参加費振込確認後、事務局より受領確認メールを送信致します。事務手続き上、2週間程度要しますがご了承下さい。

皆様からの多数の登録を、お待ちしております!!

平成24年度 第4回 定期総会に会員全員が出席を!!

日付：平成24年度4月15日(日) 場所：神奈川県立保健福祉大学 講堂

時間：神奈川県臨床作業療法大会終了後

*当日は、後日配られる予定の「総会議案書」を持参し参加して下さい。

理事会 報告

平成23年度 第4回 一般社団法人 神奈川県作業療法士会理事会 抄録

日時：平成23年11月8日(火) 19:00～21:00

場所：神奈川県作業療法士会事務所

出席理事：渡邊、佐藤、鈴木、木村、作田、富山、中西、原、福留、三浦、澤口 出席監事：清宮、長谷川

委任理事：浅井、奥原、小峰、錠内、机、野々垣 その他：名古屋・中尾・金山（事務局書記）、酒井（広報部対外広報班）

●事務局（澤口事務局長）

- ・病院医療関係団体連絡協議会の開催（事務局：県OT士会）
日時：H23/10/21 会場：神奈川県庁（第5会議室）
新知事就任後のため、会場を県庁とし、知事並びに福祉局内の部長らにもご出席頂き、意見交換を行った。
- ・医療専門職連合会公開セミナー（対象：一般県民）
日時：H23/10/21 会場：県民サポートセンター
内容：放射線の人体への影響について
講師：吉田篤史（放射線技師会） 出席：三役
- ・後援依頼：1件⇒承認
サポートツール全国キャラバン2011（全国LD親の会より）
- ・講習会講師派遣：認知症リハの家族支援プログラム（認知症のひとと家族の会より）⇒錠内副会長
- ・川崎市介護認定審査会委員推薦依頼⇒事務局にて互選、湯澤大輔（麻生リハビリ総合病院）を推薦⇒承認
- ・OT協会が行う福祉用具相談事業への参加について
次年度計画に入れていくことになった（担当：福祉用具委員会）。
- ・賛助会員B（団体）1社の入会申し込みあり⇒受理
- ・OT協会関連：代議員選挙について
代議員数で神奈川県分会の定数が3名不足し、補足分の推薦依頼が選挙管理委員会よりあった⇒検討の結果、互選の上選出することになった⇒担当は事務局。各分野や県内地域から組まなく選出することになった。

●学術部（福留理事）

- ・講習会実施：9/17分野別（身障）「高次脳機能障害の基礎」参加者136名（スタッフ6名含む）。講師：早川裕子（横浜市立脳血管医療センター）
- ・講習会予定：①11/12 分野別（身障）「上肢機能の基礎から応用」講師：鴻井建三（横浜市立大学附属市民総合医療センター）、*定員50名のところ150名の希望あり②H24/1/22 分野別（身障）「作業療法士のためのキャリア・デザイン入門」講師：若林秀隆（横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科：医師）③H24/1/22 分野別（精神）「実践報告」講師：富田浩史（富士見台病院）、武井寛道（藤沢病院）④生涯教育講座（実習指導者養成講座）：H24/1/7「教育方法論」講師：長野正（玉川大学 教職大学院 教授） 受講料：無料
- ・学術誌「神奈川作業療法研究」発行について
現在、編集員にて査読中。来年の2月下旬もしくは3月上旬に発行予定。
- ・研究助成⇒1題受理、合議審査もクリアし承認。
研究課題：重度心身障害児施設の入所者に対する作業療法の介入に関する研究
研究代表者：杉山いづみ（小さき花の園）
- ・部員の承認
小河原格也（神奈川県立保健福祉大学）⇒承認

●広報部（代読：酒井）

- ・民間企業1社より県士会ニュースにチラシ封入依頼あったが、「賛助会員B」が承認されたため、手続きに載って掲載が行われた。
- ・OT協会広報部事業に協力
9/25 作業療法フォーラムに参加
10/16 イオン本牧店においてOT啓発ブースを出展
- ・今後の啓発活動
①H24/1/26 ラジオ日本「番組名：横浜口ハス」すこやか介護コーナーに部員が出演：OTを紹介。②介護支援専門員学会にブース出展予定

●福利部（富山理事）

- ・職場見学会：2か所実施予定

- ①11/18会場：ふれあい平塚ホスピタル 講師：村中準一郎（ふれあい平塚ホスピタル）②H24/1/27 会場：港風舎
- ・平成24年度OT協会表彰推薦について
推薦候補者：協会表彰⇒規定に基づき審査、今期は対象者なし。

功労表彰：城下絵里香（1746）、谷口順子（1829）⇒2名承認。

●地域リハビリテーション部（木村理事）

- ・研修会実施：9/18「OT・PSW合同研修会（第7回地域リハ勉強会）」
参加者OT25名・PSW20名
- ・研修会予定：H24/2/5「第1回訪問リハビリテーション地域リーダーミーティング」
- ・認知症作業療法実態調査（アンケート調査）スケジュール：10/17より全施設にアンケートを配布、11月末日までに回収。翌年1月に結果を県士会ニュースに掲載。これからの活動に反映する。
- ・特別支援学校を中心としたタウンミーティングの有効性の調査：①12/3 13時～16時、②H24/3/10 13時～16時、会場：相模中央支援学校（緑風園跡地）。内容：養護学校のOTの状況を報告、地域連携に今後必要な取り組みなどをディスカッションする。
- ・今後の予定：認知症関連スキルや難病（ALS）支援スキルの普及（年1回の講習会）、就労支援パンフレット作成、また引きこもり支援調査やIT活用による施設間連絡の可能性の調査、障害者団体のニーズ把握調査
- ・神奈川県訪問リハビリテーション協議会（仮）創設に関してOTPTSTからなる訪問リハの協議会を構想中。目的は訪問リハの普及とサービスの質の確保⇒目的・活動内容をもう少し詰めて行く。⇒継続審議

●社会保障制度対策委員会（三浦理事）

- ・9/16、10/20、31に県士会ブログにおいて情報の掲載を実施。
- ・PTOT士会合同介護報酬改定講習会開催に向けて意見交換を行った。当初の当回事業計画にはなかったため、補正予算も含め審議。講習会内容はすでに決定済みで、OT士会として必要な点（精神科）が今回は入れられていない為、予算配分に関しては一度PT士会と再調整を行う⇒木村理事。今後はPT主催の内容に参加するというスタンスではなく、研修プログラムに対してOT側の意見を反映させていく。
- ・部員の承認
牛木彩子（国際医療福祉大学）、中野裕理（介護老人保健施設 悠久）⇒承認

●ウェブサイト管理委員会（作田理事）

- ・サイトの管理とアクセス件数：講習会開催情報の掲載方法を8月下旬にネット上の入力フォームのみと1本化したのが、9月・10月の依頼件数から依頼が減ることはなかった。
- ・県士会サイト本体のリニューアルに伴う「お知らせ」の掲載システムについて
9/26に県士会サイト本体のリニューアルが完了。それに伴い、各部・各委員会の「お知らせ」については、県士会サイト「お知らせの発信」の掲載依頼マニュアルにあるように2種類の「お知らせ」システムを設置した。
- ・レンタルサーバーの変更及び県士会サイトのリニューアルに伴い、県士会サイトの掲載作業が簡便に行えるようになった。さらに各部・各委員会は県士会サイトを活用できるよう、活用例を示し、提案があり、各部・委員会にてさらに県士会サイトを活用した情報発信の強化について検討して頂きたいとの提案があった。

※紙面の都合で一部割愛、詳細は県士会Webをご参照下さい。

（文責：澤口）



求人

作業療法士募集 訪問リハビリテーションをやって みませんか？未経験者も可能です

施設概要 訪問看護ステーションからの訪問リハビリ
募集人員 常勤訪問専任1名（OTあるいはPT）
 非常勤勤務1名（OTあるいはPT）
待遇 当院規定による。非常勤は時給1200円
勤務時間 9：00～18：00 非常勤は1日2時間
休日 週休2日（土日）、祝日は休み、年末年始
その他
応募方法 随時電話連絡の上、面接を行います。

担当者 所長 黒澤 愛美

有限会社 ホームケア

ひまわり訪問看護ステーション

〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町1659番地
 フラッシュビル201

TEL045-532-1112 又は 090-6164-9393

Eメール homecare_himawari@yahoo.co.jp



求人

作業療法士 募集

募集人員：3名
施設概要：515床。脳血管リハ(I) 運動器リハ(I)
 呼吸器リハ(I)
就労期間：応相談
応募資格：作業療法士免許を有する方
待遇：給与・手当 当院規定による
勤務時間：8：30～17：30
休日：年間日数108日（休日出勤あり）
 年次有給休暇、特別休暇
応募方法：電話連絡の上履歴書を持参又は
 下記宛てに郵送してください
 ※主に急性期・回復期の脳血管疾患、また神経難病へ
 の自助具作成を含めた訓練を行っています。まずはお
 気軽に見学にいらしてください。

医療法人社団明芳会

横浜旭中央総合病院

〒241-0801 横浜市旭区若葉台4-20-1

TEL 045-921-6926（直通）

リハビリテーションセンター 池田まで

Eメール：jinji@asahi-hp.jp

http://www.ims.gr.jp/asahi-hp/



求人

常勤・登録型 作業療法士募集 ～訪問看護業務未経験者歓迎 (現場経験3年以上)～

勤務地 小田原市及び周辺市町村
勤務時間 8：30～17：30（週休2日日曜日＋1日）
給与
 ＜常勤＞月給24万～賞与年2回 計3か月分～
 ＜登録型＞時給 3000円～
 交通費支給（上限あり）各種手当・社会保険完備
 要 普通自動車免許
 ＊登録型は週1～4日・半日程度 Wワーク歓迎



アムール訪問看護ステーション

小田原市高田173-23

TEL 0465-41-4145

Email amour_nurse@yahoo.co.jp

採用担当 西海（ニシガイ）



求人

作業療法士募集

募集人員：常勤 3名
施設概要：病床126床（全て回復期病床）
給与：¥235,400～（新卒給与例）＋（経験年数考慮、
 交通費全額支給）
福利厚生：各種社保完備、退職金制度有り。
勤務時間：8：30～17：30
休日休暇：4週8休
応募方法：メールか電話連絡の上、履歴書を持参又は
 下記宛に郵送して下さい。
 見学は随時受付けております。
 お気軽に御連絡下さい。
交通：「新横浜」駅よりシャトルバスを御利用下
 さい。発着場所・時刻は当院ホームページ
 を御覧下さい。

医療法人 五星会

新横浜リハビリテーション病院

〒221-0864 横浜市港北区菅田町2628-4

TEL：045-474-5511(代) FAX：045-474-6700

E-Mail reha@syr-h.com

URL http://www.syr-h.com

担当者 渡邊



求人

作業療法士募集

(訪問リハビリテーション課勤務)

募集人数 常勤1名
施設概要 脳神経外科、整形外科、放射線治療科、
 リハビリテーション科、循環器内科、
 訪問リハビリテーション課
待遇 実務経験者当法人規定により優遇
給与 当法人規定による
 賞与年2回、昇給年1回
診療時間 平日8:30~17:30
 土曜日8:30~12:30
休日 4週8休等(年間休暇123日)
福利厚生 各種社会保険加入、退職金制度
応募方法 電話連絡の上、履歴書郵送して下さい

医療法人社団 東京石心会
 新緑脳神経外科

〒241-0014 横浜市旭区市沢町574-1

電話(代表) 045-355-3600

E-Mail info@syck.jp

URL http://www.syck.jp

担当 事務長 吉野



研修会

中枢神経疾患のリハビリテーション

主催 療法士.com
日時 2012年4月1日(日)
 10時~16時30分(9時30分受付開始)
場所 かながわ労働プラザ ホールB
 (JR線 石川町駅 徒歩3分)
内容
 ●講師:伊藤 克浩 先生(山梨リハビリテーション病院)
 脳卒中患者における神経リハビリテーション(以下リハ)の重要性が試みられる昨今、BMIやロボットスーツHAL等、脳科学とリハの進歩には目を見張るものがある。
 一方で、急性期から回復期への移行時期の早期化と病態変化(低緊張症例の増加)により、端坐位、そして立位保持が困難な症例が回復期リハ病棟に増加してきている実情がある。
 そこで姿勢制御等の皮質下機能に着目したリハの重要性について述べると共に、リハが運動学習や脳の可塑性にとってどういう役割を果たしているかについて提示する。
対象 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士など
参加費 10,000円(2012年2月29日までの早期申し込み割引、以降は12,000円)
定員 140名(先着順)
申込み方法 療法士.comにて受付中 担当者:療法士.com編集部 山田
<http://ryouhousi.com/modules/c...r-2st.html>
申込み締切 2012年3月31日
生涯教育ポイント なし

問い合わせ
 療法士.com編集部 info(@)ryouhousi.com



研修会

第23回神奈川人間作業モデル実践講座・事例検討会

主催 日本作業行動学会
日時 平成24年1月29日
 13時30分から17時まで
場所 神奈川県立保健福祉大学
 神奈川県横浜須賀市平成町1-10-1
 (JR京浜急行県立大学駅下車徒歩5分)
内容 人間作業モデルによる事例検討および実践講座
 講師:山田孝先生
対象 作業療法士・作業療法学生
参加費 作業療法士 1,500円 学生 1,000円
定員 なし
申込み方法
 お申込みは、E-mailに以下の事項を記載し、件名「第23回神奈川人間作業モデル実践講座・事例検討会申込み」で送信して下さい。
 事例発表を希望する方はその旨ご連絡下さい。
 1. 氏名、2. 所属先、3. 返信先アドレス
申込み締切
 当日参加可能(なるべく事前にお申し込みください)
生涯教育ポイント
 作業療法士生涯教育ポイント対象(1ポイント)
問い合わせ
 E-mail arikawa-m@kuhs.ac.jp



求人

作業療法士募集

回復期リハ増床(1病棟40床から2病棟92床へ)のため

募集人員: 常勤5名~10名
施設概要: 法人として、1病院(267床) 1老健施設(80床)
 8診療所
 デイケア、デイサービス、訪問看護ステーション、ヘルパーステーション、包括支援センター等を運営
待遇: 当法人規定により優遇。経験年数加算。
 昇給年1回。賞与年2回。
福利厚生: 各種社会保険、共済保険、退職金制度
勤務時間: 9:00~17:00
休日: 現在4週6休、
 夏休み4、5日、冬休み6日、初年度有給休暇10日
その他: 学会、研修会参加、院内学習会あり
 病院勤務者の他、老健、デイケア勤務者も同時募集
応募方法: 電話連絡の上、履歴書を持参又は下記宛に郵送して下さい。
 (見学は月、水、金の午後)
交通: 川崎駅より大師線バス15分、桜本バス停下車

川崎医療生活協同組合
 川崎協同病院

〒210-0833 神奈川県川崎市川崎区桜本2-1-5
 TEL:044-299-4781(代表) 044-277-2127(直通)

採用担当 小林

Eメール h.kobayashi@kawaikyo.or.jp

URL: http://kawasaki-kyodo.hospi.jp

連載

青年海外協力隊体験記

～大草原の小さな私～

第6回 モンゴルの基礎情報と私が感じたモンゴル

青年海外協力隊 平成23年度2次隊 堤由貴子



●執筆者プロフィール

大学卒業後一旦就職するも、退職。その後、作業療法士資格を取得し、都内の病院へ3年間勤務する。平成23年9月より協力隊員としてモンゴルに赴任。現在、首都ウランバートルの国立外傷病院にて活動中。

現地語学訓練を終え、とうとう仕事が始まった。今回は、私がこれから働く国モンゴルと、配属先の病院、そこで求められている活動についてちょっとだけご紹介。

●モンゴル

モンゴルと言えば？モンゴルに行くことが決まった約1年前、私がモンゴルに抱いていたイメージ、それは、草原、遊牧民、そして、…。それ以上はいくら考えても出てこなかった。周囲の人に聞いても、だいたいみんな似たり寄ったりで、相撲やゲル（円形のテントのような住宅）が加わった程度。TVで、マンホールチルドレン（マンホール生活をするストリートチルドレン）なるものを見たという人もいたけど、それも数年前の話で現在はどうかののだろうか。

まず、モンゴルの基礎情報はというと、正式名称はモンゴル国。国土の面積は約156万4千km²で日本の約4倍。人口は約278万人（2010年）で、国土面積を考えると非常に少ない。首都ウランバートル（以下UB）の人口は約115万人で、約40%の人口が首都に集中している。民族は約95%がモンゴル人でその他カザフ族などの少数民族もいる。言語はモンゴル語、宗教はチベット仏教。1992年に民主化し、大統領制へ移行。民主化以降、経済は壊滅的な状況に追い込まれたが、近年は豊かな鉱物資源等を背景に経済成長が著しい。失業率約3.7%（2010年）と単純に数値だけで比較すれば、日本よりも失業率は低い。

実際に、来てみてどうだったか。UBは、高層ビルの建設ラッシュ。道には高級車も多く走っている。現在は、年末パーティーシーズンであり、街中はプレゼントや衣装、きらびやかな電飾であふれている。何だか勢いがある国なのだ。物価上昇も著しく、正直、私のお財布は苦しいです…。年末のパーティー代として配属先から徴収された金額は私の1カ月分の昼食代と同じ額で、びっくりして目の玉が飛び出て落ちこそうたったほど。羽振りいいなあ、と思ってしまう。マンホールチルドレンは？周囲のモンゴル人に聞いてみると、消えてしまったとのこと。しかし、経済が急成長しているモンゴルでも経済格差は大きい問題となっており、マンホールチルドレンは未だいなくなっていないという記載もある。

とはいえ、様々な国内外による対策により激減したことは確かなようだ。私の行動範囲が限定的なことに関係あるだろうけども、今のところ私は全く目にしていない。モンゴルへ来てから間もないため、解らないことも多いが、これが私が今、直に感じているモンゴル。これから、少しずつモンゴルのことを紹介していけたらなあ、と思う。

●国立外傷病院（配属先）

病院と研修センター機能を持つ外傷・整形治療の病院として設立され、手術科、リハビリ科、トレーニング研究科等10科併設。病院全体の年間患者数は約6千～8千人、400床。リハビリ科には医師4名、看護師10名が在籍。看護師による物理療法や運動療法が行われている。

病院では、事故等による治療のため、頻繁に手術が行われている。しかし、術後の症状に合わせた適切なリハビリテーションが行われていないために運動機能に障害が残る患者が出ているのが現状だ。そのため、理学・作業療法による専門的な治療・訓練が必要とされる。しかし、現在、モンゴルでは、それらに関する専門家の数や技術が十分ではない。私に求められるのは、スタッフの専門的知識・技術向上のため、協働しながら技術移転することだ。現在、JICAからはPTも派遣されており、協力しながら活動を進めている。詳細は、また次号以降でゆっくりと！

おまけ：モンゴル語のあいさつ

サインバイノー

直訳すると、「ごきげんいかが？」転じて、「こんにちは」。昼夜問わず使える。

あいさつへの返礼は「サイン！（いい感じ）」と。その後、こちらからも「サインバイノー」。

青年海外協力隊

JICAボランティア事業は日本政府のODA予算により、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する事業です。開発途上国からの要請に基づき、それに見合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方を募集し、選考、訓練を経て派遣します。その主な目的は、（1）開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与、（2）友好親善・相互理解の深化、（3）ボランティア経験の社会還元です。（以上、JICAホームページより抜粋）

一般社団法人 神奈川県作業療法士会ニュース < 153号 > 2012年1月発行（年6回発行）

発行責任者 渡邊慎一

編集責任者 小峰一宏

編集担当 松本政悦・大宮幸恵・菊地美帆・千葉友浩・矢野竜也・堤由貴子・本間嗣崇

印刷 発送 第一資料印刷株式会社

事務局 〒231-0011 横浜市中区太田町4-45 第一国際ビル301号 TEL/FAX: 045-663-5997
月火水木金 10:00～16:00 メールアドレス: jim@kana-ot.jp一般社団法人 神奈川県作業療法士会ウェブサイト <http://kana-ot.jp>

作業療法 神奈川県

検索